

タウンミーティングでのご意見をもとに実現!

「できる限り対応する」、「市政に反映させる」というスタンスで取り組み、実現できた主なものを紹介します。

味酒小前歩道橋の改修



歩道橋を降りた正門前の歩道が通勤・通学自転車の往来で大変危険だったことから、歩道橋を学校の敷地内に直結させ、安全性の向上を図りました。

雄郡公民館のバリアフリー化



耐震化工事とあわせて、トイレの改修や段差の解消、エレベーター設置など、頂いたご意見を踏まえながらバリアフリー化しました。



箱わなにかかったイノシシ(浅海)

鳥獣被害対策の拡充

中山間地域や鳥しょ部でイノシシなどの有害鳥獣被害が深刻化している声を受け、防護柵設置や鳥獣駆除を支援してきましたが、今年度新たにニホンジカやカラス駆除に対し報償費を支払うなど、対策の拡充を図っています。



木に登ったサルとらみ合うモンキードック

農作物を守る切り札 モンキードック
特別に訓練された犬がサルの群れを追い払うモンキードック2匹を平成26年7月から北条地区で導入し、サルが群れを一度追い払ったところには群れの出没が見られなくなったなど、一定の成果を挙げています。

多くの人でにぎわう青空市



堀江港の活性化

フェリー航路が廃止された堀江港に整備された「まつやま・ほりえ海の駅(うみてらす)」では、地域住民が主体となって青空市などのイベントが実施され、パークアンドライドが可能なバス停や駐車場を設置しました。

博物館でのイベント



鹿島の魅力向上

渡船・駐車場料金について、社会実験を経て平成25年度から値下げを行ったほか、小規模遊具の設置、キャンプ施設の改修、さらには平成26年3月、北条鹿島博物館(かしまーる)を改修しました。

通学路の安全対策

地域住民や関係機関と連携し、市内全小学校で通学路の緊急合同点検を実施、危険箇所をホームページに掲載するとともに、危険だというご意見のあった通学路に表示板を設置するなどしました。

道路の路面標示やカラー舗装

ご意見のあった危険箇所について、白線の塗り直しやカラー舗装などを行い、また国道や県道などは関係機関と連携して対応しました。

防犯灯LED化

新設する防犯灯をLEDに切り替えました。また平成26年度から、器具の取り替えにも助成を拡大しました。

子どもの自転車ルール指導

小学生を対象に自転車免許証の交付を始めたほか、小学生から大学生に対し自転車ルールの啓発を行っています。

小中学校の教室に扇風機

児童生徒の熱中症対策などのため、市内の市立小中学校全校に扇風機を整備しました。

危険ドラッグ対策

平成26年7月、市保健所内に専用の相談窓口を設置しました。

市街地の浸水対策充実

浸水被害軽減のため、浸水想定区域や避難情報を記載した「内水ハザードマップ」を作成・公表しました。

児童遊園地への遊具設置

地域で整備した児童遊園地に遊具を設置しました。

地域資源活用の支援

風早ふるさとめぐりの復活や、淡路ヶ峠への俳句ポスト設置など、地域の宝を磨き取り組みを支援しました。

石井支所駐車場借り上げ

駐車場混雑解消のため近隣の民間駐車場を借り上げました。

地域交流センターグラウンド芝生化

住民の皆さんと協力して芝生を植え、三津浜地域の交流の場となっています。

小規模校の交流支援

山間地などの学校が他校と交流する経費を助成しました。

鳥しょ部航路助成

鳥しょ部からの通院などで利用するフェリー代の一部を助成するもので、子育て世帯への支援の拡充など、一年間で二度の制度の見直しを行い、住民のさらなる負担軽減を図りました。

石手川公園樹名板設置

樹名板設置とともに倒木の恐れがある樹木を撤去し、安全で親しめる公園づくりに取り組んでいます。

公園出入口の新設

危険除去と利便性向上のため、すみれ野南団地公園南側に出入口を設置しました。

伊佐庭如矢顕彰

住民の皆さんと協力し、道後温泉本館を改築した伊佐庭如矢の功績を顕彰するイベントを開催しました。

山間部地籍調査

土地の所有者や境界などを明確にし、山間部の活性化につなげました。

多く寄せられた主なご意見(二巡目)

寄せられたご意見は全て市が持ち帰り、実現の可能性などを検討し回答してきました。



- 道路の整備、維持管理 (92件、32地区)
- 公園の整備、維持管理 (56件、25地区)
- 地域資源の活用、地域活性化 (52件、25地区)
- 学校施設の整備、維持管理 (38件、20地区)
- 防災、災害対策 (36件、14地区)
- 交通安全対策 (36件、18地区)
- 防犯対策 (30件、19地区)
- 子育て支援 (27件、20地区)
- 河川・用水路・排水路の整備、維持管理 (20件、16地区)
- 通学路の安全対策 (16件、13地区)

- 耕作放棄地対策、有害鳥獣被害対策、農業振興 (17件、9地区)
- まちの美化、ごみ出しルール (16件、13地区)
- 空き家対策 (16件、12地区)
- 地域団体(町内会まちづくり協議会など)の活動 (16件、10地区)
- 公民館・分館・集会所の整備、維持管理 (14件、11地区)
- 高齢者の福祉 (13件、12地区)
- 観光振興、国際交流 (13件、8地区)
- 公共交通の維持、利便性向上 (13件、5地区)



二巡目 参加者の声 (アンケートより)



- 安全・安心で住みやすいまちになるよう、みんなで意見を出し合って考えることができました(30代・女性)
- 前回の意見や要望への対応状況の報告もあり、開催しっぱなしではないと実感できました(30代・男性)
- 今回参加してまちづくりに興味・関心が湧きました(30代・女性)

- 小中学生が積極的に発言し頼もしく感じました(50代・女性)
- 行政と住民が協力することで、より良いまちになると感じました(50代・男性)
- 市民の意見が市政に反映されることを実感し、参加して良かったです(10代・女性)
- 自分自身も地域の活性化を目指しがんばります(50代・男性)
- 住民が地元のためにいろいろと考え、意見を持っていることが分かり心強いと思いました(40代・女性)
- 行政に積極的に意見を言うことが大切だと感じました(20代・男性)
- 行政と地域が連携できるいい機会でした(10代・女性)
- 地域のことを見直すきっかけとなり良かったです(60代・男性)



市民と市長が直接対話しながら地域の魅力や課題を抽出し、市政運営に生かしていくタウンミーティングは、平成23年1月に五明地区から開始しました。平成25年5月からは二巡目に入り、平成26年10月の河野地区まで、全41地区で2度のタウンミーティングを実施。その結果を紹介します。

タウンミーティングは、現地・現場を大切に、市民目線で市政運営を進めようと、野志市長が就任直後から最優先で取り組んだ事業。各地区で住民の皆さんから地域の魅力や課題に

や課題に

ご意見を頂き、地域の「生の声」を聴くことができました。

二巡目では、一巡目で頂いたご意見への対応状況を市長自ら説明し、一巡目を踏まえ

た幅広い議論を重ねることができたほか、開催日を土・日曜・祝日とし新たに託児を始めたこと、子育て世代の方にご利用

一人でも多くの声を市政に

参加者データ

(二巡目(平成25年5月26日~平成26年10月25日))

参加者数...2,665人(1回当たり68.3人)
 男女比...男性54.7%、女性45.3%
 発言者数...567人(1回当たり14.5人)
 参加世代(年代別)

10代	40代	50代	60代	70代以上
17.0%	12.3%	11.9%	27.5%	24.2%

20代 2.2% 30代 4.9%

満足度	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
	46.1%	42.3%	9.8%	1.5%	0.3%

お問い合わせは、タウンミーティング課 ☎948-6333・☎934-2336へ

市民との距離の近さを大切に

「市民と直接意見を交わす機会」と「せひ」を大切にしたい」というご意見を多く頂き、市民の皆さんと信頼関係が築けたと思えます。

地域の生の声を聞く「市民との距離の近さ」は市民の存在意義そのもの。今後も積極的に現地・現場に出向き、大学生や子育て世代、農業、商店街などのタウンミートイニングを展開し、徹底した市民目線による行政を推進します。

松山市長 野中 元